

(証券コード 9243)

(電子提供措置の開始日 2025年6月5日)

2025年6月12日

株 主 各 位

神奈川県厚木市中町四丁目 10 番 8 号
株式会社富士テクノホールディングス
代表取締役社長 岩澤 隆則

第 4 回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第4回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しております。ただし当社は、株主様への情報ご提供を重視し、本株主総会において「書面交付請求」の有無にかかわらず、従前同様に株主総会参考書類等を書面でお届けいたします。

当社ウェブサイト

<https://www.fjt-hd.co.jp>

東証ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

（東証ウェブサイトにアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「富士テクノホールディングス」または「コード」に当社証券コード「9243」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。）

後記の「株主総会参考書類」をご検討いただき、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、2025年6月26日（木曜日）午後5時45分までに到着するようご送付くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2025年6月27日（金曜日）午前11時
2. 場 所 神奈川県厚木市中町四丁目 10 番 8 号
厚木アザレアビル 3階 本社会議室
（末尾の「会場ご案内図」をご参照ください。）
3. 株主総会の目的事項
報告事項 第4期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容報告の件

決議事項 第1号議案 第4期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）
計算書類承認の件
第2号議案 剰余金の処分の件
第3号議案 取締役4名選任の件
第4号議案 監査役1名選任の件

4. 招集にあたっての決定事項

- (1) 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
- (2) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する株主の方に委任する場合には限られます。なお、代理人は1名とさせていただきます。
- (3) 議決権の不統一行使をされる場合には株主総会の日前3日までに、議決権の不統一行使を行う旨とその理由を書面により当社にご通知ください。

以上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイトおよび東証ウェブサイトに掲載させていただきます。

(添付書類)

事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が継続しています。一方で、米国の今後の政策動向による影響のほか、物価上昇、国際情勢、金融資本市場の変動などが国内景気の後退リスクとして懸念され、先行き不透明な状況は継続しております。

このような経済環境の中、当社グループの主要顧客である製造業は研究開発の先行投資を維持しており、当社グループに対する要請は堅調に推移いたしました。特に、当社グループの中核である技術者派遣事業では、当社グループを挙げて、技術者の契約単価アップ施策の強化や技術教育を強化した取組みにより、契約単価および稼働率が前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業年度においては、売上高 257 百万円（前年同期比 4.7%増）、営業利益 42 百万円（同 1.1%増）、経常利益 36 百万円（同 8.4%減）、当期純利益 25 百万円（同 1.2%減）となりました。

なお、当社グループにおける当連結会計年度においては、売上高 3,250 百万円（前年同期比 5.0%増）、営業利益 101 百万円（同 40.8%増）、経常利益 90 百万円（前年同期比 36.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 67 百万円（前年同期比 66.6%増）となりました。

② 事業別売上状況

(単位：千円)

科 目	期 別	第3期 (連結)	第4期 (連結)	前年同期比 (%)
		自:2023年4月1日 至:2024年3月31日	自:2024年4月1日 至:2025年3月31日	
情報処理請負事業		850,780	902,756	6.1%
技術者派遣事業		2,146,490	2,258,925	5.2%
プロダクト販売事業		97,362	88,422	△9.2%
合 計		3,094,633	3,250,105	5.0%

③ 重要な設備投資の状況

該当事項はありません。

④ 重要な資金調達の状況

当連結会計年度におきましては、株式会社りそな銀行を引受先とした無担保社債（SDGs 私募債）の発行により 100 百万円の資金調達を行いました。

⑤ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

⑥ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得の状況

該当事項はありません。

⑧ 重要な親会社及び子会社の状況

(イ) 親会社の状況

該当事項はありません。

(ロ) 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
株式会社富士テクノソリューションズ	81,865 千円	100.0%	情報処理請負事業 技術者派遣事業
株式会社エフティ・ファインテックプロダクト	9,900 千円	100.0%	情報処理請負事業 プロダクト販売事業
株式会社横芝	17,000 千円	100.0%	技術者派遣事業
株式会社富士ミライ	20,000 千円	100.0%	情報処理請負事業 技術者派遣事業
中日本技研株式会社	30,000 千円	100.0%	情報処理請負事業 技術者派遣事業
アイティーデザイン株式会社	30,000 千円	100.0%	情報処理請負事業 技術者派遣事業

⑨ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

(2) 財産および損益の状況

区 分		第1期	第2期	第3期	第4期
		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
売上高	千円	137,010	247,308	246,427	257,911
経常利益	千円	34,894	28,937	39,317	36,020
当期純利益	千円	22,341	21,355	25,365	25,048
1株当たり 当期純利益	円	27.66	26.44	31.53	31.21
総資産	千円	288,118	826,298	863,522	915,198
純資産	千円	187,551	196,793	207,605	219,010

区 分		第1期 (当連結会計年度)	第2期 (当連結会計年度)	第3期 (当連結会計年度)	第4期 (当連結会計年度)
		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
売上高	千円	2,367,423	2,711,586	3,094,633	3,250,105
経常利益	千円	13,199	39,159	66,574	90,752
親会社株主に 帰属する 当期純利益	千円	31,140	32,703	40,330	67,180
1株当たり 当期純利益	円	38.56	40.50	50.13	83.70
総資産	千円	1,321,361	1,503,376	1,516,385	1,524,841
純資産	千円	93,208	113,798	139,574	193,110

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づき算出しております。

(3) 対処すべき課題

当社グループでは、情報処理請負事業および技術者派遣事業をコアとしております。当社グループの主要取引先が属する業界における技術者に対するニーズと同業他社との差別化を明確にし、収益力および魅力ある商品体系とお客様への信頼度向上への仕組み作りが欠かせないと考えます。

今後の事業拡大のため、当社が対処すべき課題は、以下のとおりであります。

① 既存事業及び新規事業による収益基盤の強化・確立

当社グループ既存主力事業であります情報処理請負事業においては、引き続き工作機械・自動車・航空・半導体製造装置・設備機械分野を中心に製品設計・設備設計と関連するCAE解析に注力してまいります。どの分野においても開発業務の効率化への取り組みが進むと考えられますので、今まで以上に顧客毎に弊社の強みを活かした受注拡大を進めてまいります。また、昨今の当社グループを取り巻く環境は、デジタル化が急速に進んでおり、AI（生成AI、AI エージェント）、IoT、ロボティクスといった最新テクノロジーを活用した技術革新の中、変革期を迎えています。その中で当社グループは、より一層お客様のQCD（Quality：品質、Cost：コスト、Delivery：納期）改善に貢献することが求められております。当社グループが2021年10月1日より持株会社体制に移行したのは、このような激しい経営環境の変化の中、当社グループが企業価値を最大化するためには、グループ全体を俯瞰した機動的かつ柔軟な経営判断が必要であると考え、M&Aや事業提携、資本提携等を活用しやすくするための事業基盤の整備であり、これを活かした施策に注力してまいります。

② 採用および育成強化

当社グループの事業拡大のためには、即戦力かつ優秀な技術者の採用が必須と捉えています。したがって、質の高い多様な人材を確保すべく、各拠点のネットワークを活用し、多様な採用ルートを構築し中途入社の人数増加や優秀な新卒社員の獲得に向けてまいります。特に新卒採用については、採用条件の緩和、インターンシップの拡充、そしてWEBを活用した説明会や試験など、積極的な採用活動の展開を図ってまいります。

教育については、顧客の要請に添えていくために教育センターを開設し長年積み重ねた経験により構築した一般常識から技術基礎教育、OJT教育を通じて実践的な技術力を磨いてまいります。

また、新入社員研修を初めとする階層別研修の開催により、当社グループの将来を担う社員教育を強化してまいります。

③ 営業について

当社グループは、積極的な顧客展開による営業の販路拡大及びお客様のニーズに応えるべく、ソリューションの提案を推進し取引先の確保・拡大に努めてまいります。

また、顧客との交渉に努め、技術者のスキル向上および技術者単価アップを目的としたローテーションを実施してまいります。

④ 財務基盤強化

当社グループは、財務基盤強化に向けて財務体質の抜本的改善と収益力の向上を図ってまいります。なお、資金繰りにつきましては主力取引金融機関の協力を仰ぎ安定的な資金繰りに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(4) 主要な事業内容 (2025年3月31日現在)

区 分	事 業 内 容
情 報 処 理 請 負 事 業	機械設計・製造機械装置の設計・製作・販売、情報処理サービス、音響・映像関連商品の設計・製作・販売・保守点検・ソフトウェアの開発、サポート提供
技 術 者 派 遣 事 業	労働者派遣業務
プ ロ ダ ク ト 販 売 事 業	コンピューター関連商品の販売等

(5) 主要な事業所 (2025年3月31日現在)

①当社

本社 神奈川県厚木市

②子会社

株式会社富士テクノソリューションズ 神奈川県厚木市

株式会社エフティ・ファインテックプロダクト 神奈川県厚木市

株式会社横芝 東京都中央区日本橋

株式会社富士ミライ 神奈川県厚木市

中日本技研株式会社 愛知県名古屋市

アイティーデザイン株式会社 神奈川県川崎市

(6) 使用人の状況 (2025年3月31日現在)

区分	使用人数	前期末比増減数	平均年齢	平均勤続年数
当社	15名	一名増	45.5歳	13.0年
当社グループ	439名	9名減	44.4歳	9.9年

(注) 当社の平均勤続年数は、グループ企業からの出向者については出向元における勤続年数を含めて記載しております。

(7) 主要な借入先の状況 (2025年3月31日現在)

借入先	借入金残高
株式会社横浜銀行	344,800千円
株式会社りそな銀行	32,656千円
株式会社神奈川銀行	21,000千円
株式会社きらぼし銀行	48,332千円

当社グループ

借入先	借入金残高
株式会社横浜銀行	533,600千円
株式会社日本政策金融公庫	92,500千円
株式会社りそな銀行	34,842千円
株式会社神奈川銀行	21,000千円
株式会社きらぼし銀行	48,332千円

2. 会社の現況

(1) 株式の状況 (2025年3月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 3,230,400 株
- ② 発行済株式の総数 807,600 株 (自己株式 5,000 株を含む)
- ③ 当期末株主数 171 名
- ④ 大株主 (上位 10 名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
高井男	270,771	33.74
株式会社高井企画	143,600	17.89
原田久仁子	99,835	12.44
高井澄子	46,500	5.79
株式会社アド・ソー	42,300	5.27
田子キミ子	20,000	2.49
富士テクノホールディングス役員持株会	15,002	1.87
株式会社事業開発	10,000	1.24
上原祐子	8,700	1.08
山王丸朗彦	8,700	1.08

(注) 持株比率は、自己株式 (5,000 株) を控除して計算しております。

(2) 会社役員の状況

① 取締役および監査役の状況 (2025年3月31日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役会長	高井男	最高経営責任者
代表取締役社長	岩澤隆則	(株)富士テクノソリューションズ取締役 (株)エフティ・ファインテックプロダクト取締役 (株)横芝取締役 (株)富士ミライ取締役 中日本技研(株)取締役 アイティーデザイン(株)取締役
取締役	上原祐子	
社外監査役	高橋雅彦	(株)事業開発代表取締役社長

② 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で、当社および子会社の取締役、監査役を被保険者として会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険を締結しております。

保険料は全額当社が負担しており、被保険者の実質的な保険料負担はありません。当該保険契約では、被保険者である役員等がその職務の執行に関し責任を負うこと、または、当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害について填補することとされています。ただし、法令違反の行為であることを認識しておこなった行為に起因して生じた損害は填補されないなど、一定の免責事由があります。

③ 取締役および監査役の報酬等の総額

区 分	支 給 人 員	支 給 額
取 締 役 (うち社外取締役)	3名 (一名)	39,060 千円 (一千円)
監 査 役 (うち社外監査役)	1名 (1名)	2,400 千円 (2,400 千円)
合 計	4名	41,460 千円

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 期末現在の人員数は取締役3名、監査役1名であります。

④ 社外役員に関する事項

(イ) 他の会社の業務執行者の兼任状況

区分	氏名	重要な兼職状況	当社との関係
社外監査役	高橋 雅彦	株式会社事業開発 代表取締役社長	特別の利害関係はありません。

(ロ) 他の会社の社外役員の兼任状況

該当事項はありません。

(ハ) 当事業年度における主な活動状況

区分	氏名	主な活動状況
社外監査役	高橋 雅彦	当事業年度に開催された取締役会 15 回全てに出席し、必要に応じ、金融機関等における長年の経験と知見に基づき、主に内部統制に係わる事項について妥当性、適正性を確保するための発言を適宜行っております。

(ニ) 責任限定契約の内容の概要

当社と社外監査役 高橋雅彦は、会社法第 427 条第 1 項の規定に基づき、同法第 423 条第 1 項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令に規定される最低責任限度額としております。

(3) 業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況の概要

業務の適正を確保するための体制

当社及びグループ会社は、取締役会において、「業務の適正を確保するための体制」を次のとおり決議しております。

① 取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

代表取締役は、全役員、従業員に対して当社の企業理念および法令遵守を徹底させ、高い倫理観と社会的責任に基づいて行動する企業風土の醸成を指導するとともに、適宜、外部の専門家への確認を行い、法令・定款違反行為を未然に防止する。

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対しては、毅然とした姿勢で組織的に対応する。

② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

職務執行に関する文書・情報を適正に保存・管理するために、文書管理規程を制定し、

文書・情報が適切に保管および保存される体制の整備を行う。また、取締役の職務に係る文書・情報は、監査役の求めに応じて閲覧可能な体制を整え、監査役の監査を受ける。

③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

リスク管理規程に基づき、当社全体のリスクを網羅的に管理し、継続的にリスク管理状況のモニタリングを実施する。代表取締役は、リスク管理の状況を適宜取締役会に報告する。

④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会規程、職務権限規程および業務分掌規程等に基づき、取締役および執行役員の仕事分掌を明確にし、定期的にと取締役会で職務執行状況が報告される体制を整備する。

⑤ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

監査役の仕事を補助すべき使用人を置くことを求めたときには、監査役の意見を聴取し、取締役会が決定する。

⑥ 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役の仕事を補助すべき使用人として決定された期間、当該使用人の人事およびその変更については、監査役の同意を要するものとしております。

⑦ 取締役および使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

取締役および使用人は、会社に著しい損害をおよぼす恐れのある事実や不正行為、法令・定款違反行為を発見したときは、直ちに監査役に報告する。

監査役は取締役会その他重要な会議に出席し、必要に応じて取締役、使用人に対して書類の提出を求め、業務執行についての報告を受けております。

⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役は、代表取締役と定期的に会合を持ち、監査上の重要課題やリスクについて意見交換を行い、相互理解を深めています。

監査役は、監査法人と定期的に会合を持ち、意見交換を行うこととしています。

業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当社グループでは、業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は次のとおりです。

① コンプライアンス

コンプライアンスの遵守状況の確認と啓蒙を実施しています。取締役、監査役および執行役員に対してはコンプライアンス意識の醸成のため研修会を実施いたしました。また、内部通報制度を拡充すべく具体的な通報窓口を設置してまいります。

② リスク管理体制

リスク担当責任者を配置し、迅速かつ円滑にリスクに対応する危機管理体制の確立に向け活動しております。

③ 監査体制

当社における監査役は1名であり、内1名が社外監査役であります。社外監査役は公正で客観的な立場から、適正な業務執行の監視を行い経営の健全性を高めております。また、各監査役は代表取締役および公認会計士と定期的に意見交換を行う等、監査機能の強化に努めております。かかる事項を監査役に報告する体制の強化を図り、実施に努めております。

連結貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
I 流動資産	1,039,105	I 流動負債	792,165
現金及び預金	597,546	支払手形及び買掛金	31,822
受取手形及び売掛金	396,518	短期借入金	212,000
商 品	16,270	1年内返済予定の長期借入金	148,598
仕 掛 品	6,776	1年内償還予定の社債	20,000
前 払 費 用	15,555	リ ー ス 債 務	4,215
前 渡 金	6,012	未 払 金	7,634
そ の 他	426	未 払 費 用	172,995
		未 払 法 人 税 等	19,586
II 固定資産	485,735	未 払 消 費 税 等	65,214
【有形固定資産】	36,425	賞 与 引 当 金	81,678
建物（純額）	18,418	そ の 他	28,419
工具、器具及び備品（純額）	7,744		
リース資産（純額）	10,262	II 固定負債	539,565
		長 期 借 入 金	369,676
【無形固定資産】	264,225	社 債	80,000
リース資産	2,489	リ ー ス 債 務	9,555
ソフトウェア	4,418	退職給付に係る負債	80,333
の れ ん	256,051		
そ の 他	1,265	負 債 合 計	1,331,730
【投資その他の資産】	185,085	純資産の部	
投資有価証券	546	株主資本	193,110
長期貸付金	1,437	資 本 金	81,865
長期前払費用	496	資 本 剰 余 金	1,180
保険積立金	79,420	利 益 剰 余 金	112,504
保証金	35,034	自 己 株 式	△2,440
繰延税金資産	61,479	純 資 産 合 計	193,110
そ の 他	6,670	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,524,841
資 産 合 計	1,524,841		

連結損益計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		3,250,105
売 上 原 価		2,550,213
売 上 総 利 益		699,891
販売費及び一般管理費		598,279
営 業 利 益		101,612
【営業外収益】		
受取利息及び配当金	225	
助成金収入	400	
そ の 他	1,703	2,329
【営業外費用】		
支払利息	10,550	
社債発行手数料	2,559	
そ の 他	79	13,189
経 常 利 益		90,752
【特別利益】		
固定資産売却益	363	
保険解約返戻金	1,182	1,546
【特別損失】		
投資有価証券評価損	63	63
税金等調整前当期純利益		92,235
法人税、住民税及び事業税	35,135	
法人税等調整額	△10,080	25,054
当 期 純 利 益		67,180
親会社株主に帰属する当期純利益		67,180

連結株主資本等変動計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	81,865	1,180	58,968	△2,440	139,574	139,574
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			67,180		67,180	67,180
剰余金の配当			△13,644		△13,644	△13,644
自己株式の取得						
当期変動額合計	—	—	53,536	—	53,536	53,536
当期末残高	81,865	1,180	112,504	△2,440	193,110	193,110

貸 借 対 照 表

(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
I 流動資産	318,667	I 流動負債	440,212
現金及び預金	121,638	短期借入金	273,249
売掛金	146,342	1年内返済予定の長期借入金	58,812
前払費用	562	1年内償還予定の社債	20,000
短期貸付金	50,000	未払金	73,942
未収入金	124	未払費用	3,655
		未払法人税等	3,995
		未払消費税等	4,703
		預り金	1,854
II 固定資産	596,531	II 固定負債	255,976
【投資その他の資産】	596,531	長期借入金	175,976
子会社株式	424,542	社債	80,000
長期貸付金	171,989		
		負債合計	699,188
		純資産の部	
		株主資本	219,010
		資本金	81,865
		資本剰余金	83,344
		資本準備金	83,344
		利益剰余金	56,239
		利益準備金	3,787
		その他利益剰余金	52,452
		繰越利益剰余金	52,452
		自己株式	△2,440
		純資産合計	219,010
資産合計	915,198	負債・純資産合計	915,198

損 益 計 算 書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		257,911
売 上 総 利 益		257,911
販売費及び一般管理費		215,039
営 業 利 益		42,872
【営業外収益】		
受取利息及び配当金	3,055	
そ の 他	8	3,063
【営業外費用】		
支 払 利 息	7,355	
社 債 発 行 手 数 料	2,559	9,915
経 常 利 益		36,020
税引前当期純利益		36,020
法人税、住民税及び事業税	10,971	10,971
当 期 純 利 益		25,048

株主資本等変動計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	81,865	83,344	83,344	2,422	42,412	44,834
事業年度中の変動額						
剰余金の配当				1,364	△15,008	△13,644
自己株式						
当期純利益					25,048	25,048
事業年度中の変動額合計	—	—	—	1,364	10,040	11,404
当期末残高	81,865	83,344	83,344	3,787	52,452	56,239

項目	株主資本		
	自己株式	株主資本 合計	純資産 合計
当期首残高	△2,440	207,605	207,605
事業年度中の変動額			
剰余金の配当		△13,644	△13,644
自己株式			
当期純利益		25,048	25,048
事業年度中の変動額合計	—	11,404	11,404
当期末残高	△2,440	219,010	219,010

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準および評価方法

子会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 収益及び費用の計上基準

当社の収益は、子会社からの経営指導料及び受取配当金となります。経営指導料については、契約内容に応じた受託業務を提供した時点で当社の履行義務が充足されることから、当該時点で収益及び費用を認識しております。受取配当金については、配当金の効力発生日をもって認識しております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 関係会社に対する短期金銭債権	196,466 千円
関係会社に対する長期金銭債権	171,989 千円
関係会社に対する短期金銭債務	134,432 千円

(損益計算書に関する注記)

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 関係会社との取引高

売上高	257,911 千円
販売費及び一般管理費	139,000 千円
営業取引以外の取引高	3,041 千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当事業年度期首	増 加	減 少	当事業年度期末
普通株式	807,600 株	—	—	807,600 株

3. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増 加	減 少	当事業年度期末
普通株式	500 株	—	—	500 株

4. 配当に関する事項

①配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2024年6月27日	普通株式	13,644	利益剰余金	17.00円	2024年3月31日	2024年6月28日

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2025年6月27日	普通株式	16,052	利益剰余金	20.00円	2025年3月31日	2025年6月30日

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2025年3月31日における貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
長期借入金（1年内返済予定を含む）	234,788	227,589	△7,198
負債計	234,788	227,589	△7,198

(注) 1. 「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」については、現金であること及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

2. 「未払金」及び「短期借入金」については、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

3. 「長期借入金（1年内返済予定を含む）」のうち、変動金利による借入金の時価については、帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

固定金利による借入金の時価については、元利金の合計額と、当該債務の残存期間及び信用リスクを加味した利率を基に、割引現在価値法により算定しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	㈱富士テクノソリューションズ	(所有) 直接 100.0	経営指導 資金の援助 債務被保証	経営指導料等の受託	235,511	売掛金	135,562
				資金の貸付 資金の回収	256,000 122,000	短期貸付金	50,000
						長期貸付金	84,000
当社銀行借入に対する 債務被保証	212,000	—	—				
子会社	㈱エフティ・フ ァインテックプ ロダクト	(所有) 間接 100.0	経営指導 資金の援助 債務被保証	資金の貸付	60,500	長期貸付金	60,500
				当社銀行借入に対する 債務被保証	212,000	—	—
子会社	㈱横芝	(所有) 直接 100.0	経営指導 債務被保証	経営指導料等の受託	9,800	売掛金	10,780
				当社銀行借入に対する 債務被保証	212,000	—	—
子会社	㈱富士ミライ	(所有) 直接 100.0	経営指導 債務被保証	当社銀行借入に対する 債務被保証	212,000	—	—
子会社	中日本技研㈱	(所有) 間接 100.0	経営指導 債務被保証	経営指導料の受託	12,600	—	—
				当社銀行借入に対する 債務被保証	212,000	—	—
子会社	アイティーデザ イン㈱	(所有) 直接 100.0	経営指導 資金の援助 債務被保証	資金の貸付 資金の回収	50,000 22,511	長期貸付金	27,489
				当社銀行借入に対する 債務被保証	212,000	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高のうち、売掛金には消費税等が含まれております。
2. 市場価格等を勘案して、一般的取引条件と同様に価格決定しております。
3. 銀行借入につき、債務保証をしております。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額 272円88銭
2. 1株当たり当期純利益 31円21銭

監査報告書

私、監査役は、2024年4月1日から2025年3月31日までの第4期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

私、監査役は、会社法第381条（監査役の権限）以下の定めに従い、取締役、その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社および主要な事業所において業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書および個別注記表）およびその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。

(2) 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、会社の財産および損益の状況のすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年5月20日

株式会社 富士テクノホールディングス

社外監査役 高橋雅彦 印

以上

株主総会参考書類

議案および参考事項

第1号議案 第4期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）計算書類承認の件

本議案は、会社法第438条第2項の規定に従い、当社第4期計算書類のご承認をお願いするものであります。

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表の内容につきましては、添付書類に記載の通りであります。

取締役会といたしましては、第4期計算書類が法令及び定款に従い、会社財産及び損益の状況を正しく示しているものと判断しております。

第2号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要な政策の一つとして認識しております。剰余金の処分につきましては、当事業年度の業績と安定的な配当の継続等を勘案しまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭

(2) 配当財産の割当に関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき金20.00円としたいと存じます。

配当総額は16,052,000円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2025年6月30日

第3号議案 取締役4名選任の件

取締役3名全員は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、経営体制強化のため1名増員し、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役の候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	取締役候補者氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位および担当 (重要な兼職の状況)	所有する 当社の株式 数
1	たかい いさお 高井 勇 (1939年7月26日生)	1958年4月 協同油脂株式会社入社 1963年4月 アンネ株式会社入社 1968年4月 ホップ株式会社入社 1971年4月 ミツミ電機株式会社入社 1976年1月 有限会社富士商会設立 (現 株式会社富士テクノソリューションズ) 代表取締役 最高経営責任者 2021年10月 当社代表取締役会長 (現任)	270,771 株
2	いわさわ たかのり 岩澤 隆則 (1959年6月12日生)	1982年4月 相模ハム株式会社入社 2003年1月 株式会社富士テクノサービス入社 (現 株式会社富士テクノソリューションズ) 2006年4月 同社経営管理部長 2008年4月 同社執行役員兼経営管理部長 2013年4月 同社常務執行役員事業推進戦略室・経営企画・システムサポートソリューション担当 2013年6月 同社取締役常務執行役員事業推進戦略室・経営企画・システムサポートソリューション担当 2015年4月 同社取締役執行役員常務 総務・財務管理部長 2019年4月 同社取締役執行役員専務 管理本部長 2020年4月 同社取締役執行役員社長 管理本部長 2020年6月 株式会社横芝取締役 (現任) 2021年4月 株式会社富士ミライ取締役 (現任) 2021年8月 中日本技研株式会社取締役 (現任) 2021年10月 当社代表取締役社長 (現任) 2021年10月 株式会社富士テクノソリューションズ取締役 (現任) 2022年6月 株式会社エフティ・ファインテックプロダクト取締役 (現任) 2022年12月 アイティーデザイン株式会社取締役 (現任)	8,399 株
3	うえはら ゆうこ 上原 祐子 (1958年11月23日生)	1994年4月 株式会社富士テクノサービス入社 (現 株式会社富士テクノソリューションズ) 1996年4月 同社人材派遣部長 2002年4月 同社執行役員 2021年10月 当社取締役 (現任)	8,700 株

候補者 番号	取締役候補者氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位および担当 (重要な兼職の状況)	所有する 当社の株式 数
4	ひろせ としお 広瀬 敏男 (1961年3月18日生)	1983年4月 富士通株式会社入社 2018年6月 同社執行役員常務営業部門副部門長(兼)産 業・流通営業グループ長(兼)株式会社富士 通マーケティング取締役(非常勤) 2019年1月 同社執行役員常務 グローバルコーポレート 部門 グローバルマーケティング本部長 2019年6月 株式会社富士通マーケティング 代表取締役 社長 2020年10月 富士通Japan株式会社 代表取締役社長 CHO (兼)DXビジネスクリエーション推進室担当 2021年4月 同社取締役執行役員副会長 2022年4月 同社取締役副会長 2023年4月 同社取締役シニアアドバイザー 2025年4月 同社アドバイザー	一株

- (注) 1. 上記各候補者と当社の間には、特別の利害関係はございません。
2. 広瀬敏男候補者は、社外取締役候補者であります。
3. 広瀬敏男候補者は、当社グループ事業分野における長年に亘る豊富な経験と高い見識を有していることから、当社グループの経営に適切な助言・提言をいただけると判断したため、社外取締役としての選任をお願いするものであります。
4. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております。当該契約の内容の概要は、事業報告9頁に記載のとおりであります。なお、各取締役候補者の選任が承認されますと、当該保険の被保険者に含まれることとなります。また、当該契約は次回契約更新時においても同内容で更新を予定しております。

第4号議案 監査役1名選任の件

監査役高橋雅彦氏は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、改めて監査役1名の選任をお願いするものであります。

監査役の候補者は、次のとおりであります。

監査役候補者氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位および担当 (重要な兼職の状況)	所有する 当社の株式 数
<p style="text-align: center;">たかばたけ たつや 高 達也 (1978年10月1日生)</p>	<p>2006年12月 あずさ監査法人(現有限責任 あずさ監査法人) 入所 2010年7月 公認会計士登録 2016年1月 監査法人コスモス入所 2020年12月 株式会社フェニックスソリューション取締役 2021年11月 仰星監査法人入所 2023年2月 高島公認会計士事務所開設、所長(現任) 2024年11月 税理士登録 2024年11月 高島達也税理士事務所開設、所長(現任) 2025年1月 株式会社キャストリコ監査役(現任)</p>	一株

- (注) 1. 高島達也候補者と当社の間には、特別の利害関係はございません。
2. 高島達也候補者は、会社法施行規則第2条第3項第8号に定める社外監査役候補者であります。
3. 高島達也候補者は、公認会計士及び税理士としての専門的見地並びに財務、会計に関する幅広い見識を有していることから、経営についての意思決定や取締役の業務執行などに対する客観的かつ公正な監査意見が期待できると考え、社外監査役としての選任をお願いするものであります。
4. 当社は、定款第34条において、監査役との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結できる旨を定めております。これにより上記候補者が監査役に就任された場合には、当社との間で責任限定契約を締結する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令に規定される最低責任限度額としております。
5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております。当該契約の内容の概要は、事業報告9頁に記載のとおりであります。なお、上記候補者の選任が承認されますと、当該保険の被保険者に含まれることとなります。また、当該契約は次回契約更新時においても同内容で更新を予定しております。

Blank lined area for notes.

<メモ欄>

<会場ご案内図>

(住所) 神奈川県厚木市中町四丁目 10 番 8 号
厚木アザレアビル 3階 本社会議室
TEL 046-294-1070 (代表)

(地図) 小田急線 「本厚木駅」下車徒歩約8分



お願い：駐車場の用意がございませんのでお車でのご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。